

キドフーズ株式会社

中食市場の拡大に伴う豚唐揚げの包装工程の刷新と 柔軟な製品サイズへの対応

包装機の生産能力向上により生産量と品質を高めて、取引先からの需要に応えるとともに売上増加、収益増加を図り、障害者を含めた雇用の維持を図っていく。

事業取組の経緯

1978年に創業、仕事を通じて従業員、取引先、お客様に幸福をもたらすことを経営理念としている。近年はさらなる地域貢献を目指し、障害者の積極的な雇用も実施している。

当社の強みとしては、顧客満足度向上から実現する他社より安い低価格提供、小ロットの受注対応が可能な点にある。今回、取り組む背景には中食市場の拡大と取引先から少量包装提供の要請がある。また、障害者雇用を積極的に行っており、雇用を継続していくためには安定した生産数量と受注量の確保が必要である。生産面における課題として、計量・手渡し工程の非効率から、処理能力は現在118,800袋となっている。

現在、100,000袋を販売しているため、取引先からの要望である月40,000袋の追加生産に対応できないでいる。また、製品の2%程度に包装不良が発生しており、低減が課題となっている。

実施内容

包装能力の向上と柔軟な製品サイズへの対応のために「包装機 TSV-530BV 型」を導入した。機械商社「ミサキ」と設備メーカー「株式会社トーヨーパッケン」と連携し、設備導入時の操作並びに技術指導を受け、本事業を遂行した。導入設備はベルトコンベア式のため、計量後の唐揚げをベルトコンベアに置けば、自動的に投入されて包装されるので、手渡しおよび投入工程が不要となった。



＜五十崎工場・外観＞

事業取組の成果

本事業により、1か月最大生産量は216,000袋が可能となり、116,000袋の生産余力が生まれた。ベルトコンベア式の自動投入により、計量後の手渡し及び投入工程が不要となった。投入工程の担当者1名が不要となり、計量工程の増員が可能となったため、生産量を増加することが出来るようになった。また、ナイロンの均一なローラー回転により、ナイロンの折れ曲がり防止、密封不良の低減ができ、不良発生率も0.3%以下を実現できる見通しとなった。経営面においても、付加価値額、経常利益も大幅に増加し、賃上げも行うことができた。導入設備の投資回収期間は3年となる見込みである。

今後の活動予定

取引先の要望から、200g製品は3年後まで25%程度の増加を見込んでいる。その後も年10～15%程度の増加が見込まれる。それ以外の容量の製品についても、近年の中食・外食市場の拡大から、需要は高まっており、年1%程度の増加を見込んでいる。

今後も拡大が見込まれる中食市場の需要に応じていくために積極的に投資を行い、売上と収益の拡大を図っていく。また、中食・外食市場の拡大に伴い、豚唐揚げ以外の製品も受注が増加しているので、全体の生産体制強化に向け、5年後までに3名の新たな雇用も計画している。



＜包装機 TSV-530BV 型＞

キドフーズ株式会社

- 代表者／代表取締役 城戸 清信
- 本社住所／〒791-3301 愛媛県喜多郡内子町内子 1942
- TEL／0893-43-0208 ■FAX／0893-43-0370
- URL／－
- メール（代表）／kido-k@chive.ocn.ne.jp
- 設立年月／平成元年 11 月 1 日
- 資本金額／1000 万円
- 従業員数／50 人
- 業種／食料品製造業
- 事業拠点／本社 愛媛県喜多郡内子町内子 1942
五十崎工場 愛媛県喜多郡内子町五十崎甲 1743-3

企業概要

酢豚、ミンチカツ、トンカツ等の中食（お惣菜など）向け食材を製造及び販売

主要取引先

株式会社エフジーフーズ、サンヨー食品株式会社、ジーエフシー株式会社

主要商品（成果品）

カップグラタン、肉団子（つみれ）等

	酢豚用の唐揚げになり、肉に下味をつけ肉感を柔らかくする処理をしている。表面を軽く油調しているので、解凍後もしくは冷凍品のまま再油調のみでご使用できる。また肉をホルモンやレバー等の内臓系に変更する事もできる。
	ミンチカツ・トンカツ・チキンカツ（パン粉付け商品） 1 枚物～結着品まで様々な種類のパン粉付けを行っている。
	油調・焼成・蒸し・ボイル加熱品の製造。 細やかな手作業での製造も行う事ができる。

主要設備

真空タンブラー、ダイスカッター、自動フライヤー、ピロー包装機、パン粉付け機、バンドソー、コンベクションオーブン、蒸し器、冷凍庫等

担当者	品質保証・商品開発担当 城戸 浩行
連絡先	0893-44-5370
連絡先 E-mail	kido-k1@cnw.ne.jp